

【福岡女学院教会 主日家庭礼拝】

2023. 3. 26.

復活前 第2主日

黙 想 (黙 禱)

招 詞 主は言われる。「今こそ、心からわたしに立ち帰れ、
断食し、泣き悲しんで。衣を裂くのではなく、
お前たちの心を引き裂け。」
あなたたちの神、主に立ち帰れ。（『讃美歌 21』93-1-30）

讃美歌 298 (ああ主は誰がため)

主の祈り

讃 詠 28 (み栄えあれや)

聖 書 ルカによる福音書 23章13節～25節
(新約 156頁)

信仰告白 使 徒 信 条

メッセージ 「いったいどんな悪事を」
多田玲一牧師

祈 禱 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 303 (丘の上の主の十字架)

頌 栄 27 (父・子・聖霊の)

黙 想 (黙 禱)

- ◎ 讃美歌は歌詞を読むだけでも結構です。
- ◎ 会堂での礼拝では讃美歌を短縮して賛美します。

【主の祈り】 (『讃美歌 21』93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌 21』93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧 師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

Tel 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ [http:// www.fukujoch.com/](http://www.fukujoch.com/)

(教会創立 1946年6月2日)



◆死刑の判決を受ける

- 13 ピラトは、祭司長たちと議員たちと民衆とを呼び集めて、
14 言った。「あなたたちは、この男を民衆を惑わす者としてわたしのところに来て来た。わたしはあなたたちの前で取り調べたが、訴えているような犯罪はこの男には何も見つからなかった。
15 ヘロデとても同じであった。それで、我々のもとに送り返してきたのだが、この男は死刑に当たるようなことは何もしていない。
16 だから、鞭で懲らしめて釈放しよう。」
18 しかし、人々は一斉に、「その男を殺せ。バラバを釈放しろ」と叫んだ。
19 このバラバは、都に起こった暴動と殺人のかどで投獄されていたのである。
20 ピラトはイエスを釈放しようと思って、改めて呼びかけた。
21 しかし人々は、「十字架につける、十字架につける」と叫び続けた。
22 ピラトは三度目に言った。「いったい、どんな悪事を働いたと言うのか。この男には死刑に当たる犯罪は何も見つからなかった。だから、鞭で懲らしめて釈放しよう。」
23 ところが人々は、イエスを十字架につけるようにあくまでも大声で要求し続けた。その声はますます強くなった。
24 そこで、ピラトは彼らの要求をいれる決定を下した。
25 そして、暴動と殺人のかどで投獄されていたバラバを要求どおりに釈放し、イエスの方は彼らに引き渡して、好きなようにさせた。